

[521]九州大学大型計算機センターニュース :  
No. 521

<https://doi.org/10.15017/4791842>

---

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 521, pp.1-2, 1995-06-05. 九州大学大型計算機センター  
バージョン :  
権利関係 :





### 目 次

1. PACX回線 (1200bps, 4800bps) の廃止について .....	1
2. $\alpha$ -FLOW, MASP HYCテスト公開のお知らせ .....	2

#### 1. PACX回線 (1200bps, 4800bps) の廃止について

MSP および UXP の高速回線を増強し、学外からの計算機アクセス環境を向上させるため、現在サービスしている PACX 回線(1200bps, 2400bps, 4800bps, 9600bps)のうち、1200bpsと4800bpsのサービス、および、電話回線を経由した1200bpsの PACX 回線のサービスを平成7年6月末日をもって廃止いたします。

このため、現在1200bpsまたは4800bpsで MSP や UXP を利用されている方は、通信ソフトの回線速度の設定を2400bpsまたは9600bpsに変更してください。

なお、九州大学の通信基盤である KITE を利用すれば10,000,000bpsの高速で MSP や UXP にアクセスすることができます。ご検討ください。

対象となる回線の電話番号は、以下の通りです。

PACX 経由 MSP / UXP

内線 17,10

局線 092-631-1839

(ネットワーク掛 内線2543)

## 2. $\alpha$ -FLOW, MASPHYC テスト公開のお知らせ

表記アプリケーションライブラリを1995年6月12日(月)よりテスト公開します。

$\alpha$ -FLOW は、最新の解析技術を導入した汎用3次元流体解析システムです。格子生成、AI支援機能など充実したプレ/ポスト機能を有し、ベクトル計算機向けの最適化技術が採用されています。

MASPHYC は、材料の物性・構造を原子・分子レベルのミクロな情報から分子動力学の手法を用いて予測するシステムです。材料の性質を決定する原子・分子間相互作用ポテンシャルをライブラリ化することにより、有機化合物から無機化合物まで幅広い材料に適用可能です。

### 【環境】

当面センター2階のワークステーションmedicsでの動作です。LAN経由での外部からの利用はできません。また、 $\alpha$ -FLOW, MASPHYCを使用するためには、UXP経由でmedicsへの利用登録が必要です。

マニュアルおよび簡単な実習方法を書いた冊子をmedics横に設置しますので参照下さい。また、マニュアルは4階図書室でも閲覧可能です。

### 【注意】

$\alpha$ -FLOW, MASPHYCともにバックエンドのVP2600/10で計算を行います。従って計算部分にはVPの課金が適用されます。

また、テスト公開のため、VP側に十分な資源が割り当てられておりません。従って大規模な計算が出来ない場合がありますのでご注意下さい。本運用の日程はセンターニュース等でお知らせします。

(ライブラリ室 内線 2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp